

令和7年12月2日

由仁町議会

議長 後藤篤人様

総務産業常任委員会

委員長 佐藤英司

総務産業常任委員会道内行政視察報告書

本委員会は、次のとおり道内行政視察を終了したので、由仁町議会会議規則第77条の規定により報告します。

記

1 視察事項

- (1) 下川町における宅配等事業に係る地域おこし協力隊の活用について
- (2) 鷹栖町における議会広報の取り組み、一般質問の通信簿などについて

2 期日

令和7年10月30日（木）・31日（金）

3 視察地

上川管内下川町・上川管内鷹栖町

4 派遣議員

佐藤英司、中村隆浩、野市裕司、大畠敏弘、加藤重夫、早坂寿博

5 随行職員

議会事務局長・議会事務局担当主事

6 視察内容

別紙のとおり（報告書文責 委員長 佐藤英司）

下川町における宅配等事業に係る地域おこし協力隊の活用について

○下川町の概要

下川町は、北海道の北東部に位置し旭川市から北に約100kmの地点にあり、人口は10月1日現在で2,787人です。

町の90%が森林に囲まれ、恵まれた森林資源と豊かで美しい自然が残されており、内陸性の気候で寒暖の差が激しく、最高気温は約30度、最低気温は約氷点下30度と年間の温度差は60度以上になります。

○宅配等事業に係る地域おこし協力隊の活用の取組

下川町は、地域交通・物流の存続、高齢者が住み続けられるまちの実現、町内の雇用の創出のため、下川ハイヤーが中心となり宅配等事業の取組を行っています。

町が委嘱する地域おこし協力隊をドライバーとして活用し、スクールバスや予約型乗合タクシーなどの運行、賛同があった町内店舗での買物品の配送、大手宅配事業者と委託契約を結び町内的一部宅配業務を担っています。

任期を終えた地域おこし協力隊は、下川ハイヤーで直接雇用し、人材確保の課題にも対処しています。

限られた資源の中で交通・物流・福祉などの複合的な課題の一体的な解決、地域で持続可能な人流・物流の交通システムの確立が効果として期待されています。

○下川町の視察を終えて

下川町の宅配等事業に係る地域おこし協力隊の活用の取組は、物流システムとして機能していた重要なサービスの消滅、タクシー事業者の運転手の高齢化や担い手不足及び働き方などの課題への対応として行われており、高齢化が進んでいく当町の交通事業においても参考になることを学ぶことができました。

今回の視察に当たり、対応して頂きました下川町の関係各位に感謝申し上げ、視察報告といたします。

鷹栖町における議会広報の取組、一般質問の通信簿について

○鷹栖町の概要

鷹栖町は、北海道のほぼ中央である上川管内の中心部に位置し、人口は9月25日現在で6,414人です。

周りは小高い山に囲まれ、全体的に盆地状をなしており、中心部を石狩川に注ぐオサラッペ川が北から南に貫流しています。

町中心部からJR旭川駅まで車で約25分と利便性が高く、豊かな自然に囲まれた住みよい環境にあります。

○議会広報の取組、一般質問の通信簿

地方統一選挙で3期連続無投票となったこと、議員の活動・顔を知ってもらうことを出発点として先進的な広報広聴活動に取り組んでいます。

町民の目を引く会議開催のチラシの作成、読みやすくわかりやすい議会だよりの作成に取り組むことで議会への興味・関心を高めています。

また、通信簿によって町民が議員の一般質問を評価することで、町民が傍聴に集中することができ、参加しているという実感に繋がっています。

これらの取組を行う中で、議員自身の理解・学びにも繋がっています。

○鷹栖町の視察を終えて

今回の視察により、鷹栖町議会の広報広聴活動について話を聞きましたが、町民から議会への関心が非常に高まっていることがうかがえました。

斬新で先進的な取組であるため、当町を含め他の議会が同様の取組をすぐに行なうことは容易ではありませんが、当町議会においても参考になることを多く学ぶことができました。

今回の視察に当たり、対応して頂きました鷹栖町の関係各位に感謝申し上げ、視察報告といたします。

以上、総務産業常任委員会道内行政視察報告といたします。

(報告書文責 委員長 佐藤 英司)